**独立行政法人国立文化財機構アソシエイトフェロー（建築史学）の公募について**

国立文化財機構

令和5年11月15日

このたび独立行政法人国立文化財機構では、職員（アソシエイトフェロー）を公募することになりました。

応募を希望する方は、写真を貼付した別紙履歴書ほか必要書類を送付してください。

|  |  |
| --- | --- |
| １.職種 | 独立行政法人国立文化財機構文化財防災センターアソシエイトフェロー |
| ２．採用予定人数 | １名 |
| ３.勤務場所 | 文化財防災センター（奈良県奈良市二条町2-9-1　奈良文化財研究所内） |
| ４.雇用期間 | 令和6(2024)年4月1日～令和7(2025)年3月31日（採用日の前倒し可）（試用期間：採用日より3ヵ月　勤務条件の変更なし） |
| ５.分野 | 建築史学 |
| ６.職務内容 | １.文化財建造物の保存修理に係る資料（図面、写真、野帳等）の調査研究、整理、分類、デジタル化等のアーカイブ作成。２.上記職務遂行に要する専門性向上のため、文化財建造物及び文化財防災の関連業務に携わることもあります。 |
| ７.勤務様態 | ①勤務日　月曜日～金曜日②休日　土曜日・日曜日、国民の祝日、年末年始（12月29日～1月3日）③勤務時間　始業9:00～終業17:00（1日7時間）休憩時間　60分（12:00～13:00）＊在宅勤務の制度あり④休暇等　年次有給休暇有⑤その他休暇　夏季休暇・忌引等（有給）⑥受動喫煙防止措置の状況　敷地内原則禁煙（喫煙専用スペースあり）＊超過勤務、休日勤務等の可能性もあります。＊詳細は「独立行政法人国立文化財機構アソシエイトフェローの就業に関する規則等によります。（独立行政法人国立文化財機構ウェブサイトにてご覧いただけます。　URL：https://www.nich.go.jp/） |
| ８.給与等 | ①年俸3,960,000円（月額基本給330,000円）＊月額基本給（年俸の12分の1の額）を毎月17日に支給します。②その他手当等（該当時に支給される手当）通勤手当（月55,000円上限）、休日給、超過勤務手当等③保険等　雇用保険、健康保険・厚生年金加入＊詳細は「独立行政法人国立文化財機構アソシエイトフェローの就業に関する規則」等によります。（独立行政法人国立文化財機構ウェブサイトにてご覧いただけます。　URL：<https://www.nich.go.jp/>） |
| ９.応募資格 | 応募資格は以下のとおりです。1. 大学院で建築史学の領域を専攻し、修士の学位を有する者（令和6年3月までに修了見込みの者を含む）、またはそれと同等の研究業績を有する者。

②文化財建造物の保存修理に関して実務経験もしくはアーカイブ業務の経験がある者、または大学研究機関等において同内容に関する研究、指導助言等の実務経験がある者が望ましい。 |
| 10.選考方法 | ①第1次選考　書類選考を行います。②第2次選考　第1次選考合格者に対して以下の試験を実施します。・筆記試験　専門試験（建築史学、文化財建造物保存修理に関する設問）・面接試験**＊第2次選考は、令和6年2月8日（木）10:00～を予定しております。試験会場等詳細については、第1次選考合格通知時に別途連絡します。** |
| 11.採用予定者の決定及び通知 | 第1次選考及び第2次選考の結果を総合的に判断し、採用予定者を決定します。選考結果は、第1次選考については令和6年1月下旬頃、第2次選考については令和6年2月中旬頃に、合否にかかわらず本人宛に文書で通知します。 |
| 12.提出書類 | 以下の書類をご提出ください。なお、郵送にて提出の場合、書類はA4片面印刷、クリップ止めにて提出してください（冊子、ホチキス止め不可）。①履歴書（様式1　PC作成可　写真貼付　A4片面印刷）②研究業績調書（様式2　PC作成可　A4片面印刷　クリップ止め）③これまでの実務的業績目録（様式自由　PC作成可　A4片面印刷）　　④研究業績の別刷（A4片面印刷）主な研究業績(論文等)の別刷を1点提出すること。冊子不可。冊子の場合は必ずA4片面コピーをとったものを提出すること。修士・博士論文等提出時は、日本語で4,000字以内のレジュメを添付すること。⑤卒業（修了）証明書、もしくは卒業（修了）証書をコピーしたもの（大学学部以上の全て。外国語による場合は日本語訳を添付すること。）**＊推薦書添付可（必須ではありません。）****＊ご提出いただきました書類は返却いたしません。**また、ご記入・ご提出頂きました個人情報は、当公募の管理・審査以外の目的に使用いたしません。（当法人の文書管理規程に基づき厳正に管理いたします。） |
| 13.応募方法等 | **①応募締切　令和6年1月15日（月）17:00必着**②当選考案内は文化財防災センターウェブサイトからダウンロードが出来ます。（URL：https://ch-drm.nich.go.jp/）③郵送にて提出の場合、封筒に「アソシエイトフェロー応募書類在中（建築史学）」と朱書きし、受領の確認できる簡易書留、レターパック等により提出してください。④メールにて提出の場合、メールのタイトルを「アソシエイトフェロー応募（建築史学）」として、全ての書類をPDFにして添付してください。メールでの提出後、担当より受付完了のメールを送信します。提出後、応募締切日を過ぎても受付完了のメールが届かない場合は、下記宛お問い合わせください。⑤提出先・問合せ先独立行政法人国立文化財機構文化財防災センター総務担当〒630-8577 奈良市二条町2丁目9番1号 奈良文化財研究所内TEL：0742-31-9056 / E-mail：bosai-soumu@nich.go.jp |
| 14．募集者名称 | 独立行政法人国立文化財機構 |

**R6.4.１採用　アソシエイトフェロー（建築史学）**

**（様式 １）**

　　　　　　　　　　　　　　履　　歴　　書

　写真貼付欄

（３×４㎝）

|  |  |
| --- | --- |
| 　ふりがな | 性　　別（※） |
| 　氏　　名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |  |
| 　生年月日　　　昭和　　・　　平成　　　　　年　　　　月　　　　日生（　　　　歳） |
| 　ふりがな | 電　話　番　号 |
| 　（〒　　　―　　　　）方 | 自宅携帯 |
| 　ふりがな | 電　話　番　号 |
| 　その他連絡先（海外在住の方は日本における連絡先を必ず記載のこと。）（〒　　　―　　　　）方 |  |
| メールアドレス（添付ファイルを受信できるアドレスを記載のこと） |
|  |

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和　　年　　月　　日 作成

※「性別」欄：記載は任意です。未記載とすることも可能です。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区分 | 年 | 月 | 学　歴　・　職　歴　等 |
| 学歴 | 年 | 月 | 高 等 学 校　卒 業 |
| 年 | 月 |  |
| 年 | 月 |  |
| 年 | 月 |  |
| 年 | 月 |  |
| 年 | 月 |  |
|  職 歴  | 年年 | 月から月まで |  | 週　　　　時間勤務 |
| 年年 | 月から月まで |  | 週　　　　時間勤務 |
| 年年 | 月から月まで |  | 週　　　　時間勤務 |
| 年年 | 月から月まで |  | 週　　　　時間勤務 |
| 年年 | 月から月まで |  | 週　　　　時間勤務 |
| 年年 | 月から月まで |  | 週　　　　時間勤務 |
| 年年 | 月から月まで |  | 週　　　　時間勤務 |
| 年年 | 月から月まで |  | 週　　　　時間勤務 |
| 年年 | 月から月まで |  | 週　　　　時間勤務 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  区分 | 年 | 月 | 　　　　　　　　　　　　　資　　格　　等 |
|   資  格   | 年 | 月 |  |
| 年 | 月 |  |
| 年 | 月 |  |
| 年 | 月 |  |
| 年 | 月 |  |

　現 在 の 勤 務 先

|  |
| --- |
|  ふりがな |
|  名　　称　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |
|  （〒　　　－　　　）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　℡（　　　　）　　　　－ |
|  職種及び職務内容（具体的に） |  |
|  |

　自 己 紹 介 欄

|  |
| --- |
| 志望動機・当館勤務における抱負 |
|  専攻（専門分野）及び所属学会等 |
|  主要論文等テーマ（応募時添付のもの） |
| 語学　英語 （　１　２　３　４　５　）他の外国語＿＿＿＿＿語（　１　２　３　４　５　） | 趣味・スポーツ |
| どちらで、この度の公募をお知りになりましたか？　該当の□に**レ**を記入してください。□　文化財防災センターのウェブサイト　　　　　　　　　　□　ＪＲＥＣ-ＩＮ（研究者人材データベース）□　その他（　　　　　　　　　　　　　　） |
| その他 |

履歴書について

（１）パソコンによる入力可とします。なお，自筆の場合は，万年筆又はボールペン（黒色又は青色）で記入してください。

（２）年は元号で，数字は算用数字を用い，文字は楷書により正確に書いてください。

（３）写真の裏面には氏名を記入して，履歴書に貼付すること。

（４）職歴欄にはすべての職歴を記入し，非常勤の職の場合は週あたりの勤務時間数を明記すること。

（５）語学欄は下表を参考にして，本人の語学力に最も近いと思われる番号を○で囲むこと。

（６）他の外国語欄も下表に準じて記入すること。

|  |  |
| --- | --- |
| １ | 　高校までの授業や大学で履修したことはあるが、以後ほとんど使用していない。又は一切忘れてしまっている。 |
| ２ | 　身近な言葉をゆっくり話してもらうと最低限理解できる。　外国への出張や旅行、又は、外国人の来訪の際など、必要に迫られれば、自分の身の周りの会話は努力して使っている。一応、ある程度定期的に自分で学習する努力をしている。（入門・初級）（英語の場合、目安として、ＴＯＥＩＣ３７０点程度若しくは英検３級程度） |
| ３ | 　日常生活に必要な言葉であれば、要点を理解し応答に支障はない。仕事上で、手紙や短い文章を読んで理解することはできる。（中級）（英語の場合、目安として、ＴＯＥＩＣ５６０点以上若しくは英検２級程度） |
| ４ | 　仕事である程度のコミュニケーションが取れる。仕事上の必要があれば資料を使って概要を説明できる。一応の電話等の対応ができる。（中上級）（英語の場合、目安として、ＴＯＥＩＣ７６０点以上若しくは英検準１級程度） |
| ５ | 　仕事で十分なコミュニケーションが取れる。外国語での書簡を読んで、返事の下書きを書いたり、外国語による会議に出席して、その概要をまとめたりできる。（上級）（英語の場合、目安として、ＴＯＥＩＣ９４０点以上若しくは英検１級程度） |

　　　　　　例　　　英語（１２３④５）　　　　他の外国語　（独語　４）

（７）英語検定，中国語検定，TOEFL，TOEIC等の語学検定を受験している場合には，資格取得の年月，試験の点数等を語学欄，他の外国語欄に記入すること。例　英検準１級（Ｈ２８）　TOEFL４５０点（Ｈ２９）

（８）ボランティア経験等はその他欄に記入すること。

（９）メールにより連絡・通知等をする場合も考えられるため，添付ファイルを受信できるメールアドレスを

記入すること。

**R6.4.１採用　アソシエイトフェロー（建築史学）**

**（様 式 ２）**

研究業績調書

氏名

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ○印 | テーマ | 内　　　容 | 発表等の時期及び方法 | 共同研究者 |
|  |  |  |  |  |

記 入 要 領

１　研究業績及び教育事業実績の記入は次の順序とし、かつ、同一項目のものについては年代順に記入する。

　　イ　学会誌　　　ロ　公刊図書　　ハ　機関紙・内部報告　　　ニ　口頭発表　　ホ　展観等

　　ヘ　研究調査　　ト　教育事業実績　チ　その他

２　研究テーマ等で代表的なものに○印をつける。

３　共同研究者の欄は主たる研究者に○印をつける。